

復

ヨコ…細い
タテ…太い

鳥

書き出しは
すべて45度で止まり
筆を立てる

聞

横画は右上がり6度で
同じ方向、同じ間隔、
同じ太さ

聲

啼

九成宮醴泉銘(唐・欧陽詢)

倣書で書いています

字形は、背勢

点画を互いにそり合った
形に書くこと

厳密で切れ味鋭い筆法
直線的

また、
復た啼鳥の声を聞く

小鳥のさえずりも耳にする時節

(王維の詩より)